
脱獄

タケノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

脱獄

【Nコード】

N2453I

【作者名】

タケノコ

【あらすじ】

植物状態から目を覚ました男、ゲリー。彼が目を覚ました場所は刑務所らしいのだが……

(前書き)

SFもののショートショートで最後にオチが来るやつです。

「……うーうん。ここは……」

植物状態で長い年月、眠りにっていた人物が目を覚ました。

彼はゲーリー、人を殺した人物だ。

自分に取り付けられている医療器具を外しながら

「囚人服だし、刑務所か？」

辺りを見渡したが誰もいない。

ゲーリーは、部屋に一つしかないドアに近づいた。

「鍵がこちら側についているじゃないか！」

・
・
ゲーリーは自身の牢屋から出た。そして、一本道の通路を散策しているところと一人の精気がない囚人と出会った。

「おい。鍵は全部開いてるし、看守もいねえ。いったいどうなってるんだ？」 質問された精気がない囚人はゲーリーが歩いて来た道の逆を指差した。

「あつちがどうしたんだ？ 出口か？」

頷く元気がない囚人。

「サンキューな！俺は一足先にとんずらするわ！あばよ！」

そう言うと、ゲーリーは囚人が指差した方向に走り出した。

・
・
「でけー門だな！開くかな。よっと」

ゲーリーが両手で押すと何とか開いた。

「あら、もう一個も門があるのか面倒だな。オリヤ！」

ゲーリーは、二枚目のドアに激しく体当たりした。すると、外に投げ出された。

そこは、闇の世界。丸く青い地球がゲーリーの視界に大きく映しだされた。

ゲーリーは薄れゆく意識の中で

（宇宙牢獄ってか…囚人達が元気がなかった…のはこ…れで…か…
…）

「おしまい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2453i/>

脱獄

2010年10月10日05時17分発行